

立体マスクを作ろう！

家庭科の宿題でも出しましたが、依然、マスク不足が続いています。よかったら、参考に作ってみてください。

『型紙を使ったマスクの作り方』を参考にして、立体マスクを完成させよう。

<方法>

- 型紙は、別紙の型紙を切り抜いて使用しよう。
- ミシンや、手縫い（なみ縫い）で作れます。
- 使用する生地やゴムもいろいろなものがあるので、おうちの方に聞いたり、インターネットで調べたりしてみよう。

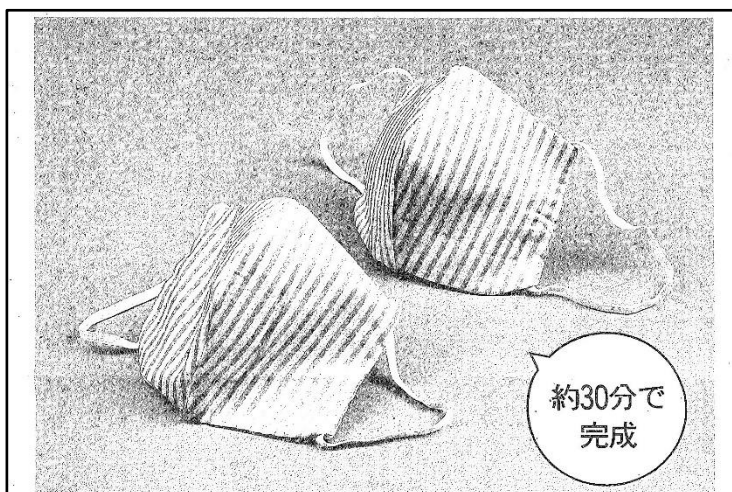
<材料>

- 生地の長さ 20cm、幅 30cm を 2 枚

※生地はガーゼを使わなくても構いません。家にある着なくなった服やハンカチの生地など使って作ってみよう。
(右の記事を参照)

- ゴム 70cm (2本分)

※ゴムも品薄になっています。ヘアゴムや使用済みのマスクのゴムを代用したり、ズパゲッティを利用したりしてみよう。(右の記事を参照)



着なくなった服も材料に

完成までの時間は30分ちょっと。カーブの部分が顔にフィットし、ずれも少なく、着け外しもゴムの部分を持って簡単にできます。

ガーゼ生地を使う場合は、洗濯した時の縮みを防ぐため、あらかじめ水通しし、アイロンをかけてください。着なくなった洋服などを使うの

もおすすです。

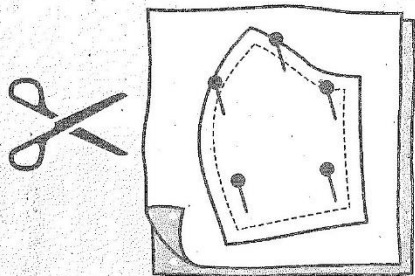
耳ひもに使う丸ゴムが品薄の手芸用品店もあるそうです。その際は、ヘアゴムや着古したキャミソールのひも、使用済みマスクのゴムなどで代用する方法もあります。オカダヤのスタッフのブログなどでもアイデアが紹介されています。

『中日新聞 2020年3月31日付の掲載記事』より

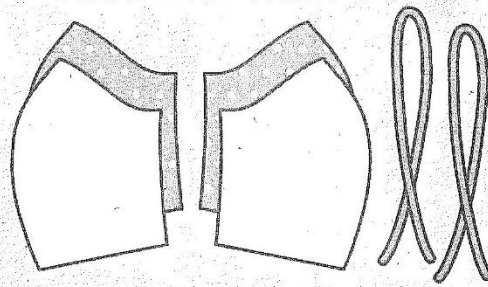
型紙を使ったマスクの作り方 (マスク1個分の手順)

● 材料の目安 生地長さ20センチ、幅30センチを2枚。ゴム70センチ(2本分)

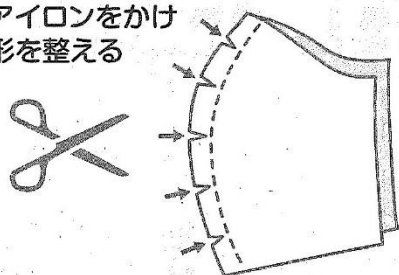
1 中表に生地を2枚重ね、型紙をのせて裁断する。もう1組同様に裁断する



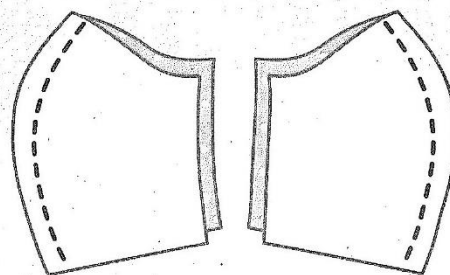
2 左右のパーツそれぞれ2枚、計4枚ができる。ゴムも2本用意する



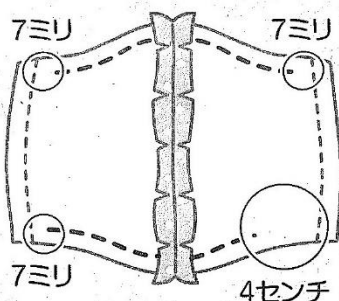
4 縫い合わせたカーブがなじむよう縫いしろに切り込みを入れて開き、アイロンをかけた形を整える



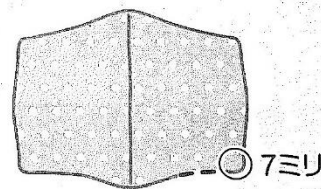
3 左右のパーツの中心側を縫い合わせる



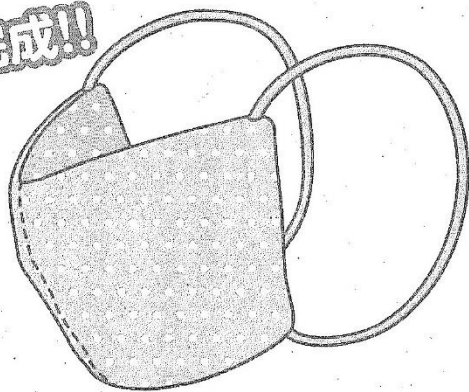
5 中表に合わせて、両端を縫い合わせる。ゴムの入れ口(両端7ミリ)を残して上部を縫い合わせる。下部は片側はゴムの入れ口(7ミリ)、もう一方は返し口(約4センチ)を残して縫い合わせる



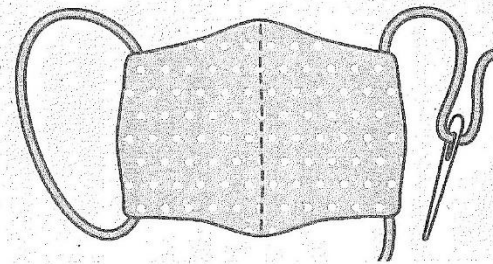
6 返し口から表に返し、形を整える。返し口を7ミリ残してまつり縫いでとじる



完成!!



7 両脇にゴムを通す。ゴムの長さは調整して結び、結び目はマスクの中に引き込む



<別紙>

立体マスクの実物大型紙

これを切り取って型紙として使います。
自分に合う大きさにアレンジしてみよう！

